

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月6日
【四半期会計期間】	第35期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	アリアケジャパン株式会社
【英訳名】	ARIAKE JAPAN Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 田川 智樹
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区恵比寿南三丁目2番17号
【電話番号】	03(3791)3301(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 経営管理室長 松本 幸一
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区恵比寿南三丁目2番17号
【電話番号】	03(3791)3301(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 経営管理室長 松本 幸一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) アリアケジャパン株式会社九州第2工場 (長崎県北松浦郡佐々町小浦免字小浦浜1572-21)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第3四半期連結 累計期間	第35期 第3四半期連結 累計期間	第34期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	23,760,768	24,952,313	31,516,667
経常利益(千円)	3,256,885	4,583,314	4,896,547
四半期(当期)純利益(千円)	1,653,785	2,656,318	2,586,232
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,363,844	2,576,805	2,442,449
純資産額(千円)	41,266,805	43,646,344	42,345,304
総資産額(千円)	49,740,863	51,247,864	50,929,626
1株当たり 四半期(当期)純利益金額(円)	51.96	83.46	81.26
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	82.51	84.66	82.67

回次	第34期 第3四半期連結 会計期間	第35期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	25.35	41.59

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 記載金額は、千円未満を切捨てによって表示しております。なお、1株当たり情報については小数点第3位を四捨五入によって表示しております。
4. 売上高は消費税等抜きで表示しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、欧米経済の停滞や新興国の成長鈍化の影響、長引く円高、更には近隣諸国との緊張もあって弱含みに推移してまいりました。

このような環境下にあつて、当社グループは、天然調味料における独自の技術力と営業力を駆使し、既存顧客の深耕と新規顧客の開拓に努め、売上高の増大と収益の確保に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期の連結売上高は24,952百万円（前年同期比1,191百万円増）となりました。

また、第3四半期の連結経常利益は4,583百万円（前年同期比1,326百万円増）となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当社グループの国内の研究開発活動は技術開発部で行なっており、主要研究活動はユーザーの要望に応じた各種調味料、スープ類の試作およびテクニカルサービスと、当社企画製品開発及び新素材の調味料の基礎研究であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は255百万円であります。

#### (4) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

食品業界におきましては、景気回復の確信が持てない中消費者の節約志向は変わらず、企業にとって厳しい状況にも変化はありません。

しかしながら、当社グループは日本国内にとどまらず、グローバル・エンタープライズとして世界的な規模で企業活動を展開し、いかなる情勢にあつても収益を確保する体制を構築しております。

#### (5) 経営者の問題意識と今後の方針について

日本国内の食品業界は、少子高齢化という避けることのできない命題を抱え、今後の大きな発展は望めない状況であります。

このような状況下にあつて、当社グループは世界各地で増設した生産設備を背景とした全世界でのマーケティングを展開し、成長著しいアジア地域、また当社製品開拓の余地のある欧米地域において拡販努力して収益の安定的な増大を目指し、計画どおりの売上高・利益を達成する所存であります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	130,000,000
計	130,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月6日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	32,808,683	32,808,683	東京証券取引所 (市場第1部)	単元株式数100株
計	32,808,683	32,808,683	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	32,808,683	-	7,095,096	-	7,833,869

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 980,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 31,725,500	317,255	-
単元未満株式	普通株式 102,683	-	-
発行済株式総数	32,808,683	-	-
総株主の議決権	-	317,255	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,400株(議決権の数14個)含まれております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) アリアケジャパン(株)	東京都渋谷区恵比寿南 三丁目2番17号	980,500	-	980,500	2.99
計	-	980,500	-	980,500	2.99

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,383,293	5,177,508
受取手形及び売掛金	2 6,762,530	2 7,662,370
有価証券	2,500,000	1,500,000
商品及び製品	2,457,591	2,455,894
仕掛品	623,750	609,637
原材料及び貯蔵品	1,566,457	1,714,318
繰延税金資産	186,520	185,812
その他	283,513	301,282
貸倒引当金	1,617	3,191
流動資産合計	19,762,039	19,603,632
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	19,090,627	19,825,605
減価償却累計額	8,445,690	8,912,989
建物及び構築物(純額)	10,644,936	10,912,615
機械装置及び運搬具	20,501,578	21,178,763
減価償却累計額	15,247,228	16,024,578
機械装置及び運搬具(純額)	5,254,350	5,154,184
土地	4,371,883	4,379,808
リース資産	44,156	44,156
減価償却累計額	6,940	13,392
リース資産(純額)	37,215	30,764
建設仮勘定	1,291,895	840,538
その他	808,352	822,728
減価償却累計額	730,483	748,926
その他(純額)	77,869	73,801
有形固定資産合計	21,678,150	21,391,712
無形固定資産	133,659	136,985
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1 8,021,980	1 8,798,427
長期貸付金	136,384	84,961
投資不動産(純額)	539,701	682,089
繰延税金資産	56,294	-
その他	601,444	550,357
貸倒引当金	30	302
投資その他の資産合計	9,355,776	10,115,534
固定資産合計	31,167,586	31,644,232
資産合計	50,929,626	51,247,864

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	2,944,067	2,991,339
短期借入金	723,477	666,624
リース債務	9,032	9,032
未払法人税等	1,427,887	742,283
賞与引当金	180,340	77,639
役員賞与引当金	56,000	-
その他	1,704,211	1,496,427
流動負債合計	7,045,015	5,983,346
<b>固定負債</b>		
長期借入金	388,700	323,436
リース債務	30,044	23,270
繰延税金負債	38,639	41,860
退職給付引当金	583,336	600,886
役員退職慰労引当金	305,277	320,254
その他	193,309	308,465
固定負債合計	1,539,307	1,618,173
<b>負債合計</b>	<b>8,584,322</b>	<b>7,601,520</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	7,095,096	7,095,096
資本剰余金	7,833,869	7,833,869
利益剰余金	30,818,154	32,201,344
自己株式	2,059,169	2,059,233
株主資本合計	43,687,950	45,071,075
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	485,008	531,919
為替換算調整勘定	2,069,323	2,216,239
その他の包括利益累計額合計	1,584,315	1,684,320
少数株主持分	241,669	259,589
純資産合計	42,345,304	43,646,344
<b>負債純資産合計</b>	<b>50,929,626</b>	<b>51,247,864</b>



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	23,760,768	24,952,313
売上原価	16,306,464	16,533,356
売上総利益	7,454,303	8,418,956
販売費及び一般管理費	1 3,858,392	1 4,057,741
営業利益	3,595,911	4,361,215
営業外収益		
受取利息	67,585	102,370
受取配当金	76,888	73,616
受取家賃	20,467	21,469
デリバティブ評価益	148,097	156,387
その他	80,683	120,753
営業外収益合計	393,723	474,597
営業外費用		
支払利息	29,323	27,605
為替差損	687,785	188,479
その他	15,641	36,413
営業外費用合計	732,750	252,498
経常利益	3,256,885	4,583,314
特別損失		
投資有価証券評価損	10,432	-
ゴルフ会員権評価損	4,031	-
固定資産除却損	-	17,788
店舗閉鎖損失	-	4,341
特別損失合計	14,463	22,130
税金等調整前四半期純利益	3,242,421	4,561,184
法人税等	1,575,797	1,884,842
少数株主損益調整前四半期純利益	1,666,624	2,676,341
少数株主利益	12,839	20,023
四半期純利益	1,653,785	2,656,318

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,666,624	2,676,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,346	46,910
為替換算調整勘定	277,433	146,447
その他の包括利益合計	302,779	99,536
四半期包括利益	1,363,844	2,576,805
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,355,529	2,556,312
少数株主に係る四半期包括利益	8,315	20,492

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 非連結子会社及び関連会社に対するものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
投資有価証券(株式)	8,196千円	8,196千円

2. 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	63,763千円	73,297千円
支払手形	30,071千円	89,518千円

(四半期連結損益計算書関係)

1. 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費の総額

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
一般管理費	241,486千円	245,496千円
当期製造費用	8,084千円	9,562千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	1,303,192千円	1,339,909千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月17日 定時株主総会	普通株式	636,568	20.00	平成23年3月31日	平成23年6月20日	利益剰余金
平成23年11月11日 取締役会	普通株式	636,568	20.00	平成23年9月30日	平成23年12月12日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	636,565	20.00	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金
平成24年11月9日 取締役会	普通株式	636,563	20.00	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、天然調味料事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	51円96銭	83円46銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,653,785	2,656,318
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,653,785	2,656,318
普通株式の期中平均株式数(千株)	31,828	31,828

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年11月9日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額・・・636,563千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・20円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・平成24年12月10日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行っております。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月4日

アリアケジャパン株式会社  
取締役会 御中

### 優成監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	加藤 善孝
指定社員 業務執行社員	公認会計士	小松 亮一
指定社員 業務執行社員	公認会計士	陶江 徹

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアリアケジャパン株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アリアケジャパン株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。